

『松島湾 うみっこ たづっこ プロジェクト』

活動地域  宮城県松島町

ひろげる助成

3年目

調査研究

資材の投入回数 **2回**

資材の投入面積 **50㎡**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **100%**



福浦橋の上から資材を投入する参加者

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

1回目のイベントでは予想以上の方々に参加いただいたので、その対応に苦勞した。以降のイベントではスタッフ数を増員した。

■工夫した点

持続的な活動のため、橋から資材を投げ入れる本活動を松島町が主催するゴミ拾いツアーや、松島高校観光科が行っている修学旅行生のための案内ツアーに取り入れていただいた。

課題

震災による津波で壊滅的な被害を受けた松島湾の藻場の再生を図ることで生態系を復活させ、基幹産業である水産業や観光業の復興と持続利用可能な地域社会の創生を目指す。

目標

多くの協力者に参加いただき、継続的な「みんなで行う藻場造成」が実施できること。また藻場の回復指標として、サンゴタツを確認することとする。

活動内容と成果

昨年度に引き続き、藻場の生えやすい環境を整えるため、泥場となったエリアに藻場回復資材を投入する底質改良イベントを2回実施した。

- 投入資材は授産施設（不自由を抱えた方の就業施設）の方々に製作を依頼した
- イベントに参加及び関与した人数は新型コロナウイルスの影響で昨年度に比べ減少したものの、およそ2,100人となり、新たにスタッフとして大学生ボランティアが参加した。さらに松島高校観光科の生徒による修学旅行生のための案内ツアーの中に、本イベントを取り入れていただき、多くの高校生にも参加いただいた



大学生スタッフと資材を投入する松島高校生



底質改善エリアへのアマモの移植活動

全助成期間の活動を振り返って

本活動の中心となる福浦橋での底質改善イベントには、当初の計画に比べてとても多くの観光客（約6,500人/3年）に参加いただいた。また、この活動を通して、以前からお世話になっていた漁業関係者の方々をはじめ、松島町観光課や授産施設の皆様、大学生サークル、松島高校等、より多くの多様な繋がりができたと感じる。松島湾での藻場再生活動をツールとして、地域が持つ課題に対する様々な取組みにもつながることを実感した。

〒984-0051
宮城県仙台市若林区新寺1-5-26-104
電話：022-293-2281
E-mail：e-tec@world.ocn.ne.jp
HP：http://www.e-tec.server-shared.com/



今後の展望

3年間の活動によって、ステークホルダーが広がり、イベントや企画がさらに活発化する可能性が高いことから、地元関係者に大きく期待されている。資金面では、松島町においてイベント資材の有料化や寄付金付きの入場券が検討されている。また、ふるさと納税の活用についても議論がなされていると報告を受けた。人的な面では松島高校観光科や大学の環境サークルの関与があり、内容を引き継ぐことで持続的な活動になると考えている。